

# 第8回 鳥取駅周辺リ・デザイン会議

令和8年3月17日

---

## 次第

### (1) これまでの検討経緯について

- 1) 検討過程
- 2) 関係者等との意見交換
- 3) 市民意見等について
- 4) 四者連携協議会での議論
- 5) 駅まち空間デザイン検討部会での議論、レイアウト案

### (2) 整備計画（素案）について

### (3) 策定までのスケジュールについて

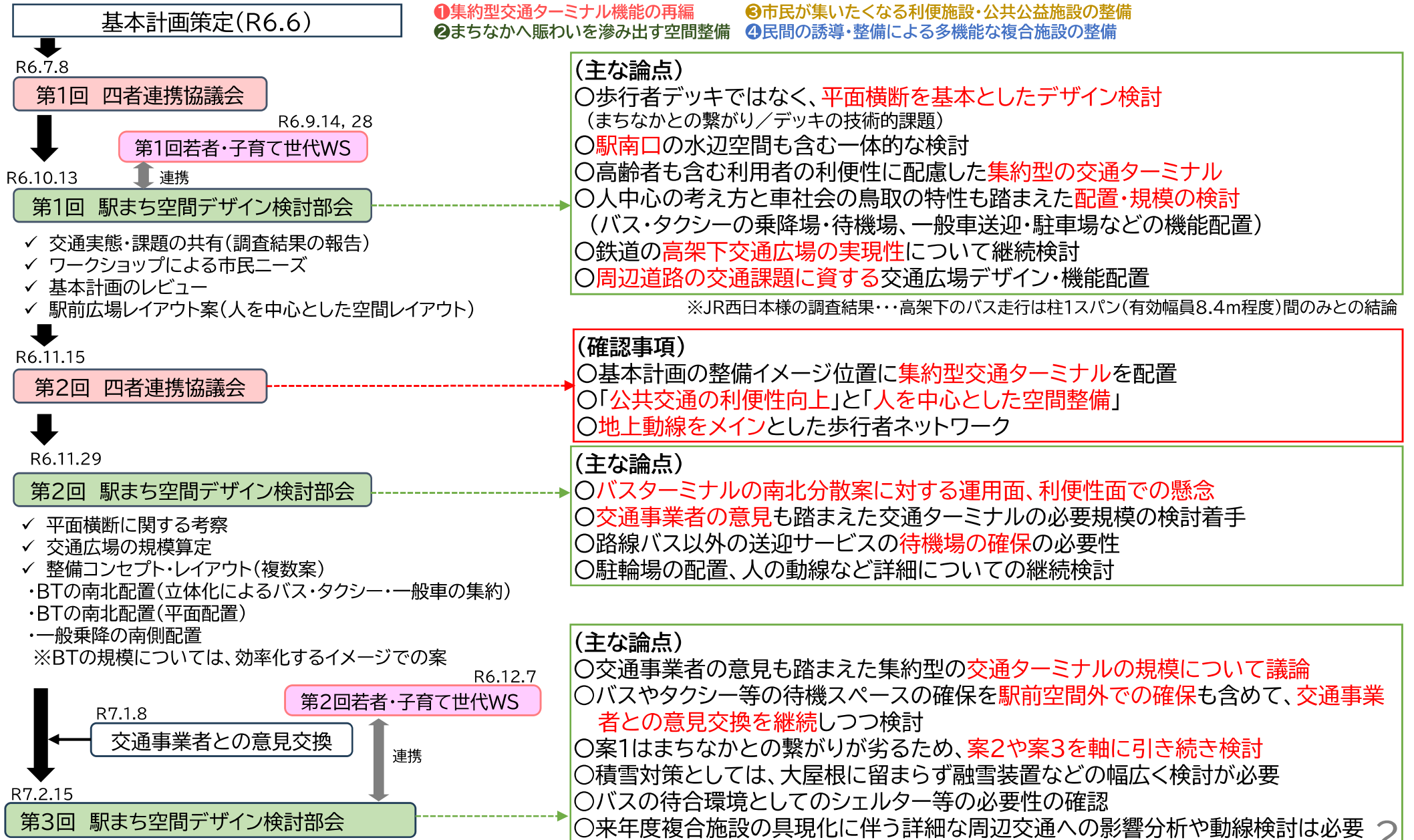
### (4) 意見交換

## (1) これまでの検討経緯について

---

# 1) 検討過程

## R6年度



# 1) 検討過程

R7.2.15 【再掲】

第3回 駅まち空間デザイン検討部会

R7.3.13

第3回 四者連携協議会

R7年度

R7.5.16

交通事業者との意見交換

R7.5.26

地元商業等関係者との意見交換

R7.7.2

第4回 駅まち空間デザイン検討部会

R7.7.18

岡山駅現地合同視察

交通事業者との意見交換

R7.7.29

第4回 四者連携協議会

R7.8.18

第7回 リ・デザイン会議

## (確認事項)

- 高架下のバス通行に対する自転車・歩行者動線との交差による安全対策の必要性
- 北口広場の機能・役割について、風紋広場の経緯の確認等が必要
- 北口・南口広場の使い方・役割など、踏み込んだ議論が必要
- 公共交通の集約の潮流に対して、タクシー乗降場を分散することは逆行感があり、タクシー業界の実情や将来も踏まえた検討も今後必要
- バス待機場を大きくするのは、本当にそのような方向でいいのか要検討
- 北口広場とバードハットは行き来ができる方がよい

3

## (主な論点)

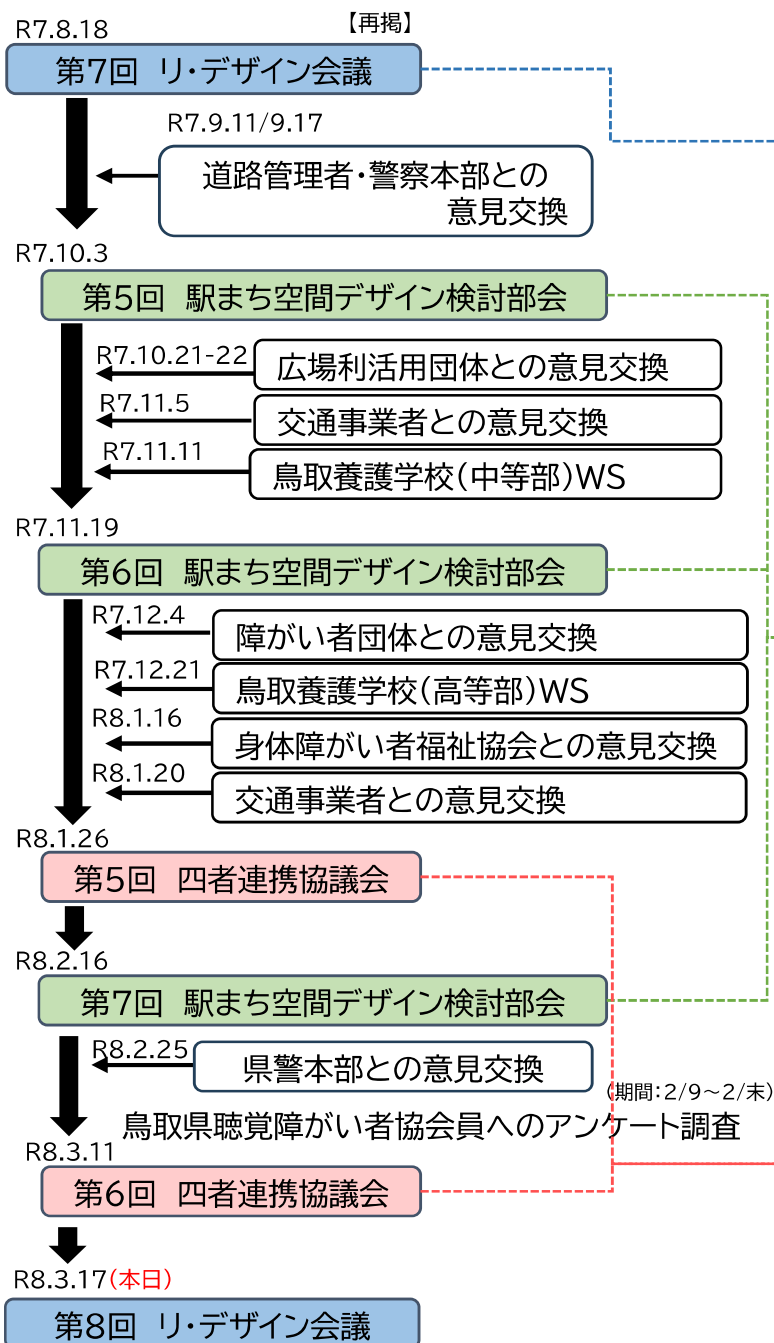
- 駅前の風情ある個人商店の雰囲気もまちづくりに活かすことができると良い
- 改札を出てから駅北口のタクシー乗降場所までの案内について懸念
- 基本計画の考え方を踏まえ、利用者目線のターミナル再編が必要。
- 四季折々の環境変化(雪や雨)、その排水面など細かな配慮をした整備が必要
- 平面横断や若桜街道へのバス停設置に対する処理能力の検証の必要性
- 中心市街地の住民の関心・意識醸成
- 長期的な視点で時間軸をもった整備が必要
- 整備後の地域のマネジメントへの議論の深化。
- 複合施設のプロトタイプメイキングとプロデューサー役の存在の重要性
- 整備用地や概算事業費などについても検討し、関係者と協議を進める。



## (確認事項)

1. まちなかとの繋がり・まちづくりに関して
  - 若者、家族、高齢者・障がい者等の利用者にとって魅力あるものとしていくこと
  - 経済団体としての協力意向
2. レイアウト案及び関係者との調整に関して
  - 平面横断に対する関係機関との協議の進捗
  - タクシー乗降場所への導線確保や視認性等への配慮
  - 障がい者各団体等との意見交換の場
  - 複合施設におけるまちなかやシャミネとの相乗効果
3. 全体を通じて
  - レイアウト案を基本に個別議論を関係者間で協力しながら進めていくことで合意

# 1) 検討過程



## (主な論点)

- 若桜街道への降車バス設置について
- バスターミナルの乗降場所の集約に関する利用者目線での配慮について
- バリアフリーの観点からのタクシー乗り場の配置について
- 北口広場からまちなかとの繋がりと平面横断に関する検討について
- 複合施設の検討状況と民間投資を期待した情報提供について
- 今後数十年のまちづくりを踏まえた都市機能を向上させる投資のあり方について
- 提示したレイアウトを基本に更なる検討を進めていく方針となった

## (主な論点)

-第5回-

- 路線バスの降車専用バスをバスターミナルへ集約する方針の合意
- 交通広場・バスターミナル・待合環境等は、空間規模に関する関係者との継続協議
- 鉄道高架下の空間利用については、JR西日本として、個別協議を進める
- 駅北口の身障者乗降場に関する当事者との協議の必要性
- 平面横断の実現に向けた地下道の取り扱い、メリット・デメリットを継続検討
- 事業手法、事業費の検討も視野に、最終的に必要な決定事項を整理の必要性

-第6回-

- 広場利活用は、主催団体ヒアリングや市民ワークショップ、アンケートによるニーズ把握
- 平面横断は、将来的な地下道のあり方も踏まえつつ、段階的な検討
- 広場、複合施設ともに大きな方針としては今回提案の方向性としつつ、一方、各事業の組み立ては今後の議論で検討を深度化。

-第7回-

- 平面横断は降雪日の移動実態等を裏付けるデータなどを整理しつつ、関係機関での継続協議であり方を議論。今後、市民による議論を促していくことも検討する。
- デザインコンセプトは、周辺の個別事業との整合性にも留意しつつ示していく。
- 将来像であるワクワク感を市民にも示していく工夫をする(イメージパースなど)

## (確認事項)

-第5回-

- 整備計画は、市民へ適切な情報発信として、未確定事項等の扱いには留意する。
- レイアウトも同様、平面横断・地下道など未確定事項の表現に留意。
- 駅前広場での歩行者・自転車動線に配慮した各種の施設・設備などへの細かな配慮。

-第6回-

- 平面横断については、様々な立場の意見を広く聴きながら、関係機関と協議を継続する。
- デザインコンセプトは鳥取らしさにマッチしており異論はない。
- 今後、状況変化への対応や、地元経済界からの意見取り入れながら進めていく。
- 鳥取市には強いリーダーシップを期待。今後、県としても応分の負担を検討する。

## 2)関係者等との意見交換

・前回のリ・デザイン会議以降も関係者等との継続的な意見交換を実施し、デザインへ反映・改善に取り組んできた。 5

	実施概要	主な論点・結論等
広場利活用者	①民間事業者 3団体 ②R7.10	<p>■風紋広場、ケヤキ広場、バードハットを利用する民間事業者・団体3者との意見交換を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 現状課題として、風紋広場の手狭さや動線の悪さ、バードハットとの連携のしづらさ 等</li> <li>✓ 再整備後の活用アイデアとして、週末にマルシェやお酒が飲めるようなイベント、南口との連携、市民以外も呼び込めるコンテンツ 等</li> <li>✓ 整備にあたっては、まちなかとの分断解消のための平面横断への賛同、イベント時の屋根やステージ、その他備品を片付けられるベンチ等の機能など、設え面 等</li> </ul>
交通事業者	①バス事業者 ②R7.11-R8.1	<p>■路線バス事業者2者とバスターミナルに関わる議論を継続的に実施</p> <p>1)若桜街道への降車バース設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 一般交通への交通流や安全性、バス運行管理上の課題、現地支障物件など、様々な問題を勘案し、バスターミナル内へ集約する方針で合意（路上への設置はしない）</li> </ul> <p>2)バスターミナルのデザインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ バース数、配置方法、待機場所、繁忙期の運用などを客観的なデータに基づき議論を継続し、現案で合意</li> </ul>
福祉団体・当事者	①関係者等 ②R7.11-R8.2	<p>■障がい者団体等と様々な場で意見交換や当事者とのワークショップ、アンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 点字ブロック、視覚情報などのバリアフリーへのニーズ</li> <li>✓ 駅とまちなかとの移動における階段の昇降に対する移動の支障と平面横断への賛同の意見</li> <li>✓ 車いす利用者のエレベータ利用時の苦勞（ボタンを押す作業など）やドアの開閉、分かり易い案内など細かな配慮による誰もが利用しやすい駅まち空間への要望 等</li> <li>✓ 複合施設は若者が無料で滞在できる場所の確保や鉄道、バスの時刻表などの情報機能の充実への要望 等</li> </ul>
警察	①県警本部 ②R7.9-R8.2	<p>■周辺の交通処理へ影響を与える事項について継続的に実施</p> <p>1)若桜街道への降車バース設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ バス事業者・道路管理者と合意した方針に異論なし</li> </ul> <p>2)平面横断について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地下道存廃も含めて継続的な検討が必要であり、スクランブル化までのフルメニューでの整備が唯一の案なのか細かな議論が必要。</li> </ul>

## 2)関係者等との意見交換

### R8.1.16 身体障がい者福祉協会との意見交換

#### 意見抜粋

- ・地下道やデッキになると目の悪い人は使えないし、車いすの人も同じ。そもそも車いすの方はエレベーターのボタンを押すのでも大変なので、平面やスクランブルで繋がるほうがいい。
- ・配置は支障ないが、車いす駐車場については一般の人が停めてしまい、必要としている人が使えないことがよくある。マナーの問題もあるが、一般車が止められないような対策をしてもらいたい。



### R7.11.11 鳥取県立養護学校 中等部でのワークショップ

### R7.12.21 鳥取県立養護学校 高等部 //

#### 意見抜粋

- ・誰もが安心安全に利用しやすい空間がいい。
- ・コンコースの出入り口は開き戸でドアが重たく、車いすでは開けることができない。また、幅もギリギリで通れるか不安に感じることもある。
- ・車いすで利用できる自販機などが設置してあっても位置がどこにあるかを調べないといけないうちは使えない。わかりやすい案内が欲しい。



### R8.2.4 移動等円滑化協議会にて説明

### R8.2/9~2/末 鳥取県聴覚障がい者協会員に対するアンケート調査の実施

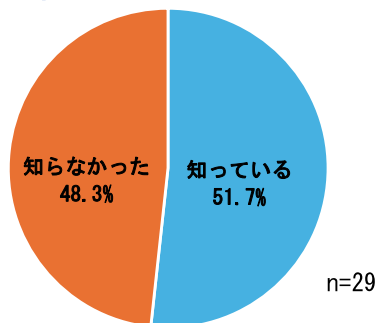
### 3) 市民意見等について

#### ① 聴覚障がい者団体へのアンケート調査

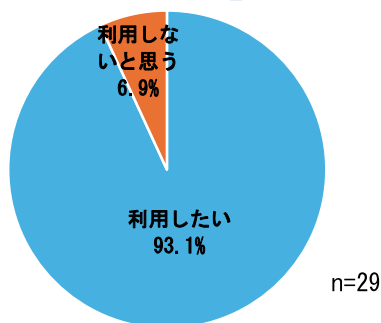
- 調査目的：聴覚障がい者団体に所属されている方を対象にバリアフリーの観点から駅周辺整備におけるニーズを把握する
- 調査方法：紙面による配布・回収（協会を通じて実施）
- 調査期間：2026年2月9日～2026年2月28日
- 回答数：34票

##### 再整備の認知度

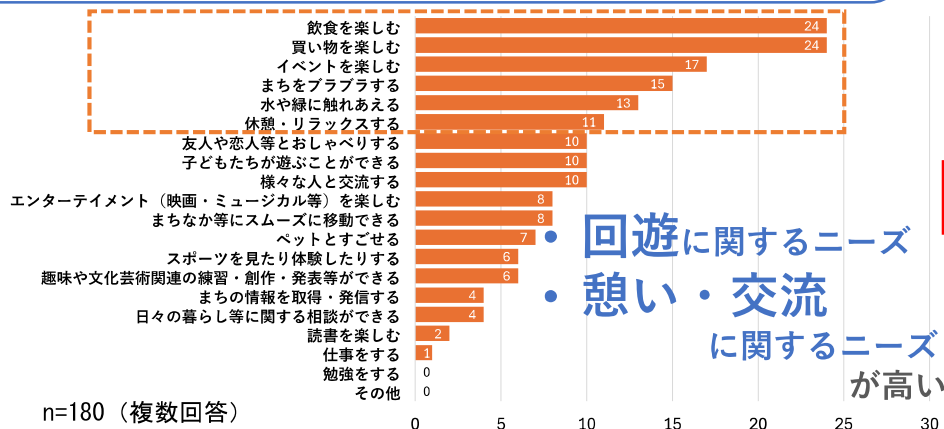
- 約半数の人が「再整備の計画があることを知らなかった」
- 再整備後については93.0%の人が「利用したい」と回答



##### 再整備後の利用意向



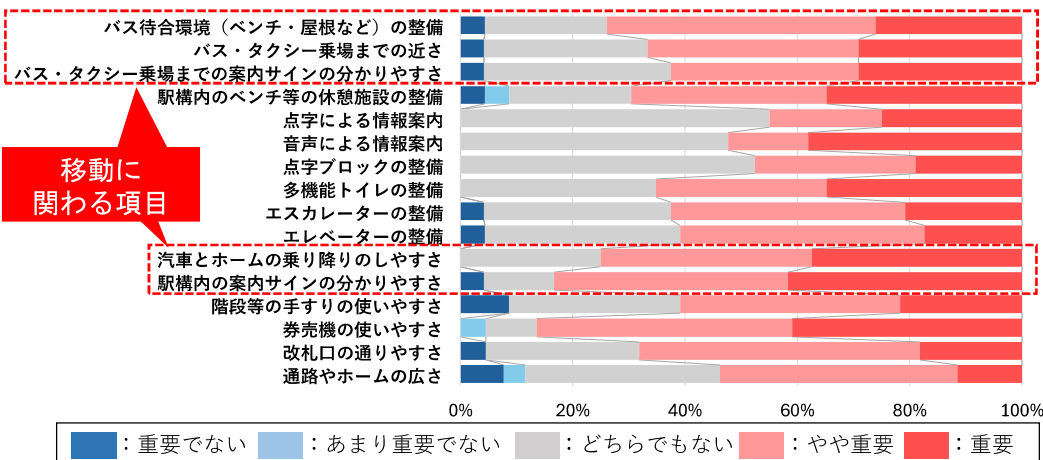
##### 駅でどのようなことができると利用したいか



回遊に関するニーズ  
憩い・交流に関するニーズ  
が高い

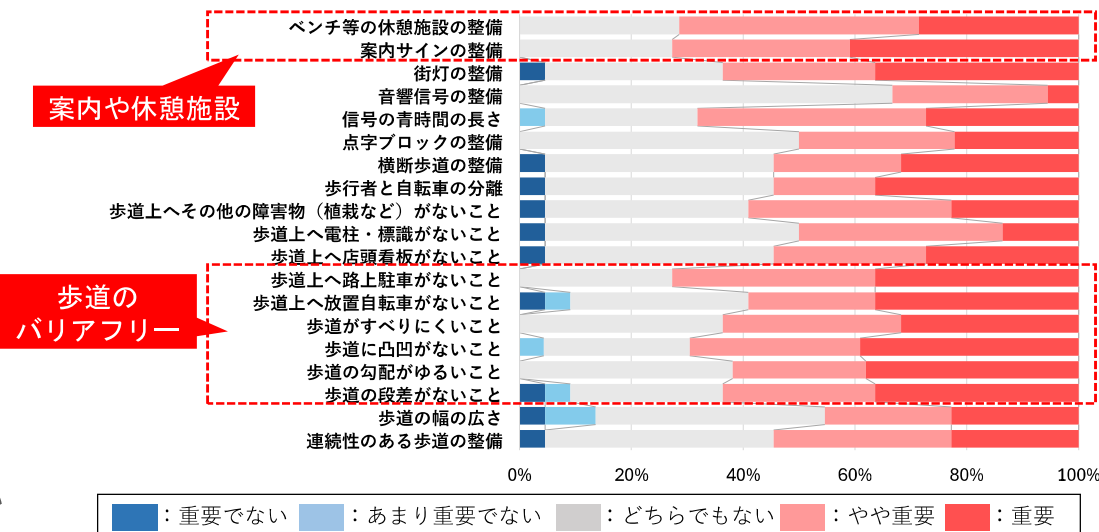
##### 鳥取駅のバリアフリー環境の重要度

- 円滑な移動を支える動線やその設備環境へのニーズが高い
- その他、駅構内の移動に関するニーズが高い



##### 駅周辺の道路空間のバリアフリー環境の重要度

- 歩道のバリアフリー環境を重視するニーズが高い



### 3) 市民意見等について

#### ② 麒麟のまち圏域のアンケート

##### ■ 調査目的：

- 麒麟のまち圏域(1市6町)の在住者を対象とした鳥取駅周辺の利用状況や再整備に対する意見把握

##### ■ 調査方法：

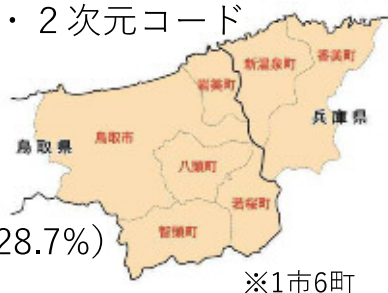
- 無作為選出による郵送配布回収・2次元コードによるWEB

##### ■ 調査期間：

- 2025年12月末～2026年1月30日

##### ■ 回答数

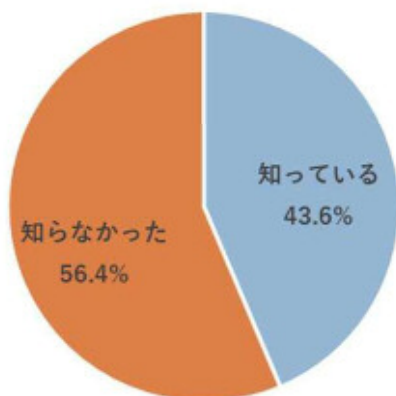
1,202件 (4,200件配布、回答率28.7%)



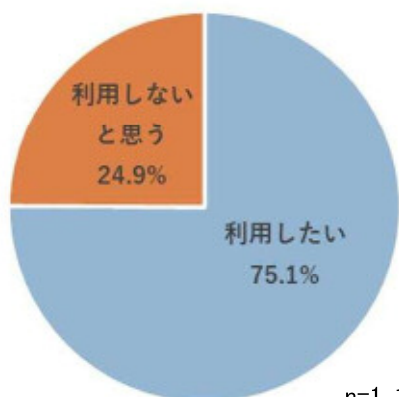
(圏域全体でみると・・・)

##### 再整備の認知度

- 56.4%の人が「再整備の計画があることを知らなかった」
- 再整備後については75.1%の人が「利用したい」と回答



##### 再整備後の利用意向

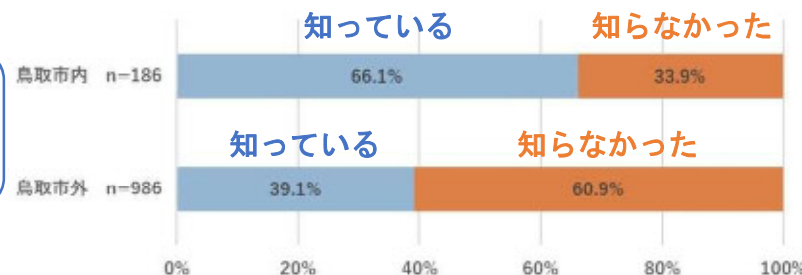


(居住地別にみると・・・)

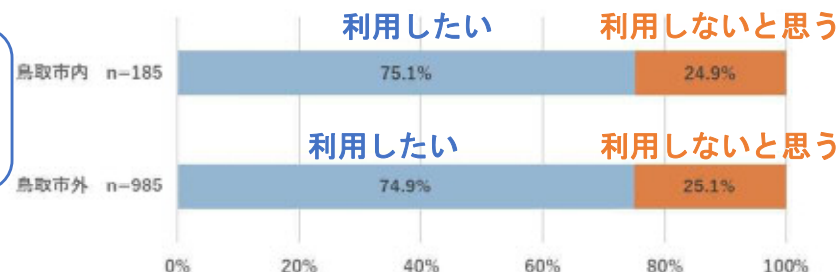
調査結果詳細は参考資料

- 市内在住者は約7割と認知
- 利用の意向は、居住地に大きな違いはない。

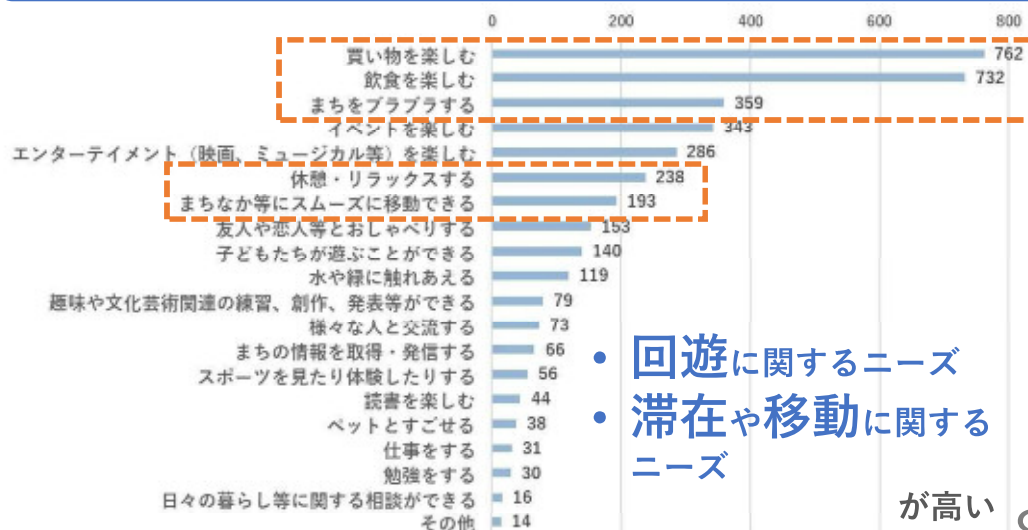
##### 再整備の認知度



##### 再整備後の利用意向



##### 駅周辺でどのようなことができると、より使用したいと思うか

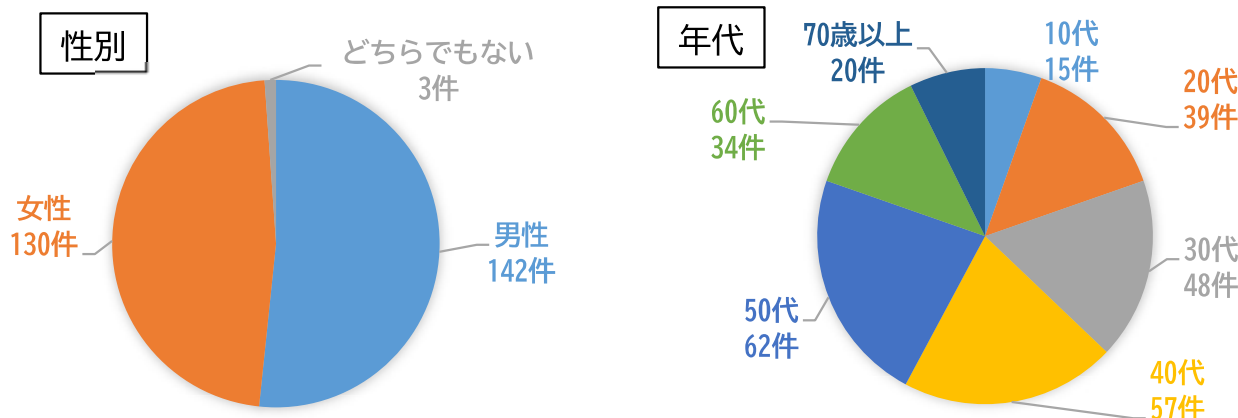


- 回遊に関するニーズ
- 滞在や移動に関するニーズ

が高い

## ③ 市民からの意見について（鳥取市HPから随時意見募集を実施）

鳥取市に寄せられた意見（R6. 8. 20～R8. 2. 28 現在275名）



主な意見の件数（大別）計430件

映画館・シネコン	65件
駐車場	60件
商業施設・ショッピング	36件
飲食店	22件
子どもと過ごす空間	20件
緑・環境	20件
平面横断・歩行空間	19件
事業に期待する意見	17件
アミューズメント施設	13件
カフェ	13件
事業への慎重意見	13件
図書機能・学びの場	12件
ライブハウス・ホール	8件
書店	6件
駐輪場	5件
その他	101件

**意見抜粋**（※R7. 8月レイアウト案の公開以降に届いたご意見 78名）

### 1) 「賑わいの核」としてシネコン（映画館）誘致を希望

10代～60代まで幅広く、「大きな映画館がほしい」「絶対に作って」など強い要望が複数。その他、様々な人が集い自己研鑽できる場として、交通機関の乗り継ぎにかかる待合所を兼ねた知的・滞在拠点として「図書機能・学びの場」を求める提案があった。

- ・「1番は、日吉津のような大きな映画館が欲しいです。」（50代女性）、「計画の中で映画館の設置が検討されていましたが、絶対に作ってください。」（20代女性）ほか
- ・「公立の図書館と薦屋図書館・スターバックスカフェの融合した…スペースが欲しい」（70歳以上男性）ほか

### 2) 交通結節の機能面に対する意見

鳥取駅からバスターミナル間の雨雪対策やバリアフリー、案内の分かりやすさなど「誰もが安心安全に使える」空間整備を求める意見。

- ・「駅を出てからバスターミナルまで、雨や雪を凌ぐアーケードが欲しい。」（50代女性）
- ・「路面は…ベビーカーにも優しいバリアフリーで。」（50代女性）ほか
- ・「視覚障がい当事者です。昇り降りが困難になるので、立体的な造りにしないでください。」（70歳以上男性）

### 3) 事業に対するご意見

個別の必要機能に留まらず、人口減少を前提とした投資規模の妥当性や、事業の進め方・位置付けなど、事業推進の考え方そのものに関するご意見。

- ・人口減少と若者減の現実を前提に、過剰投資や新たな商業施設は避けて最小限整備に絞り、文化はハードよりソフト支援を重視した身の丈の計画にしてほしい。（60代男性）ほか
- ・都会を見本にするのではなく、鳥取に今後必要とされるであろう交通関係の機能とそれに付随するものを考えて頂き、持続可能で20年先の子供たちに残せるものを作って頂けたらと思います。（60代男性）
- ・古き良きばかりでもダメですが、中長期目線で何が必要か、鳥取らしさや鳥取に暮らす人を忘れずに再整備をしていただきたいです。（30代女性）

### 3)市民意見等について

#### ④鳥取駅周辺リ・デザイン市民フォーラムの開催

昨年12月に開催した市民フォーラムでは多くの方にご参加いただき、駅前再整備の関心度の高さを改めて確認。

- 開催日時 令和7年12月21日(日)14時~16時半
- 開催場所 とりぎん文化会館 第1会議室、第3会議室
- 参加者 約200名
- 開催内容

テーマ「ワクワクが止まらない、  
駅からはじまるミライのカタチをデザインしよう」

- 主催 鳥取市・鳥取市中心市街地活性化協議会
- 協力 鳥取商工会議所、鳥取商工会議所青年部
- 後援 鳥取市商店街振興組合、鳥取大学

##### ◇基調講演

鳥取駅周辺再整備と中心市街地における新たなにぎわい創出の可能性についてまちづくりの事例等を紹介

講師:山崎 亮 氏  
(studio-L代表/関西学院大学建築学部教授)

##### ◇パネルディスカッション

市民とつくる駅前のミライのカタチについて、地域の方々を加えてディスカッション

ファシリテーター:齋藤 浩文 氏(株式会社まるにわ)  
パネラー:山崎 亮 氏、中村 彩 氏、縫谷 吉彦 氏、宮本 善和 氏

鳥取市公式YouTubeにて  
パネルディスカッションの  
様子を公開しています。



▲基調講演の様子



▲パネルディスカッションの様子

# 4) 四者連携協議会での議論

・四者連携協議会において、整備計画（素案）やレイアウト（案）内容や公表について議論をしてきました。

実施概要	主な論点・結論等
<p>①レイアウト案 ／デザイン案 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地下道の取扱いについては、平面横断を実現する観点等から廃止もやむを得ないのではないかという意見も。他方、歩行者の利便性が減退するおそれもあるため、メリット・デメリットをしっかりと情報公開して市民の議論を喚起するとともに、道路管理者や県警とデータに基づく議論を重ねてほしいとの意見も。</li> <li>✓ 協議継続中の整備内容（地下道、平面横断など）もあることから、公開するレイアウト案には「今後変更もありうる」ことをわかりやすく明記したほうがよい。</li> <li>✓ デザインコンセプトには鳥取らしさが出ている。市民に提示し意見をもらいながらブラッシュアップしてほしい。</li> </ul> <p><b>⇒これらを前提にレイアウト案やデザイン案をリデザイン会議で議論することについて賛同を得られた。</b></p>
<p>②整備計画 （素案） について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 民間の役割、期待も高まっている。1月に商議所でも市長に意見書を提出したが、再生のグランドデザインを描くことが重要。駅前商店街でも再整備の取組が始まりつつある。民間と行政が連携し駅前も含め面的に一体となった取組を展開できるよう、市には考え方を示してほしい。</li> <li>✓ 民間との連携なしに整備効果を発揮させることは難しい。商工会議所の意向も整備計画（素案）に反映させてはどうか。計画の要となる複合施設は、周辺民間再整備との相乗効果が発揮できるよう検討を進めてほしい。</li> <li>✓ 鳥取市には強いリーダーシップを期待。今後県としても応分の負担をしていく。用地については今後検討される整備手法や全体事業費を踏まえて県としても協力していく。</li> </ul> <p><b>⇒地元経済界との連携や民間との一体的な整備を進める方針を盛り込み、今後も適宜整備計画に反映させていく。</b></p>

## 第5回 四者連携協議会

開催日：R8.1.26

議 題：

- (1)今年度の取組状況
- (2)駅まち空間デザイン検討部会の状況報告
- (3)進捗報告
- (4)意見交換



## 第6回 四者連携協議会

開催日：R8.3.11

議 題：

- (1)進捗報告事項
- (2)第5回四者連携協議会の  
主な意見と対応状況
- (3)整備計画(素案)について
- (4)意見交換



## 5) 駅まちデザイン検討部会での議論

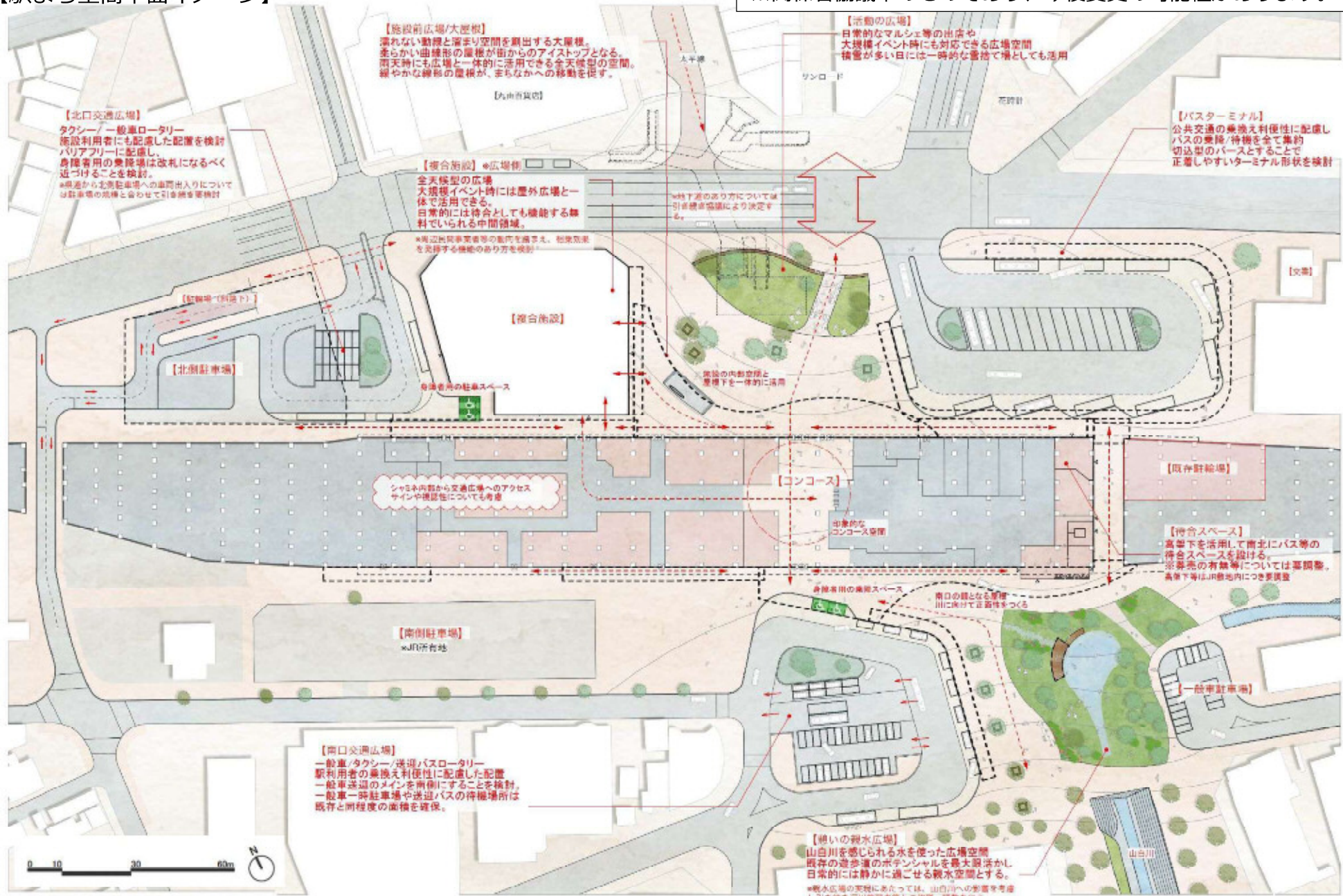
・第5回～第7回の3回の部会で、関係者・関係機関との議論を踏まえた空間デザインについて議論を行ってきた。

実施概要	主な論点・結論等
<b>バスターミナル・交通広場 (一般車送迎・タクシー)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 若桜街道への降車バース設置(案)の見直し、バスターミナルの規模やバース数・配置の方針の方針について議論</li> <li>✓ 交通広場（一般車送迎・タクシー）における身障者乗降場への動線や配置配置、駅南側ロータリーと役割分担について、当事者との丁寧な意見交換を踏まえながら進めることについて議論</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>⇒規模やバースなどのデザイン案について現行の計画案をベースとしていくことで合意</b></p>
<b>駅前広場 (南北)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 歩行者と自転車との動線、ステージ等の設えのあり方、コンコースを出てからの雨等に濡れない導線などについて議論</li> <li>✓ 屋根や舗装など周辺の個別事業との整合の重要性なども指摘</li> <li>✓ 駅南側の親水空間のあり方を山白川の浸水実績や河川管理上の課題等から関係機関の意見も踏まえ議論</li> <li>✓ 複合施設1階部分と北口広場との一体的な使い方、全天候型の屋根のあり方等を議論</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>⇒現案の規模や配置を基本方針として、個別の未確定事項について表現方法に留意</b></p> <p style="text-align: center;"><b>⇒イメージパースなどを活用して市民へワクワク感が伝わる整備計画として取りまとめる</b></p>
<b>複合施設</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今後の民間事業者意向を前提に具体化する必要があることを前提に、複合施設の整備方針、導入機能、考え方など、駅まち空間の整備との整合性や公共の立場として重要視すべきことについて議論</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>⇒コンセプト、整備方針、導入機能の考え方、空間構成のイメージを取りまとめる</b></p>
<b>平面横断</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平面横断のあり方は、デメリット・メリットやデザインの観点からの眺望（イメージパース）、まちなかとのつながりを重視する観点から議論</li> <li>✓ レイアウト等の記載については関係機関の意見も踏まえ判断していく</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>⇒関係者・関係機関との議論を継続していく</b></p>

# 5) 駅まちデザイン検討部会での議論

## 【駅まち空間平面イメージ】

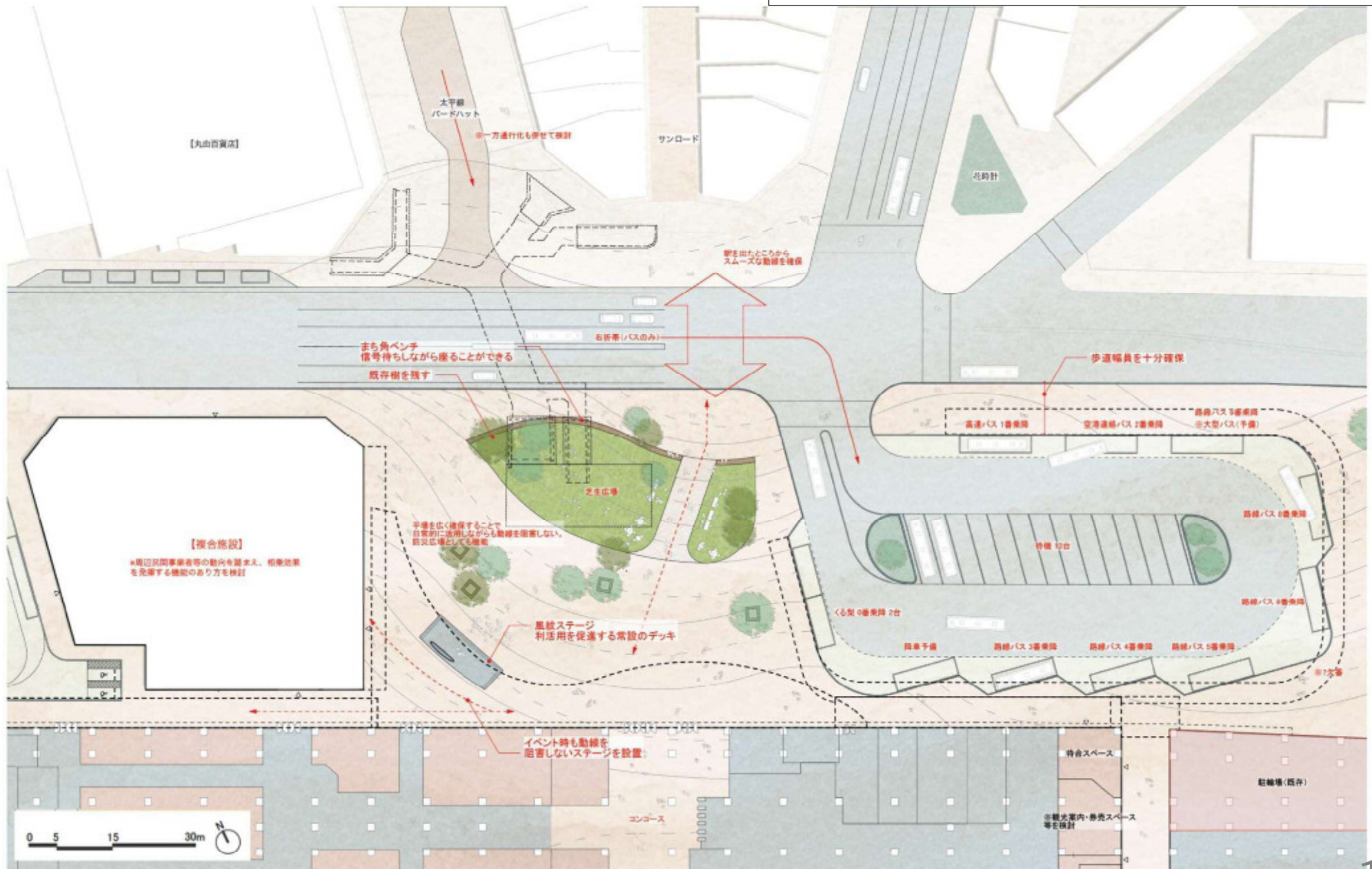
※関係者協議中のものであり、今後変更の可能性があります。



# 5) 駅まちデザイン検討部会での議論

【北口駅前広場平面イメージ】

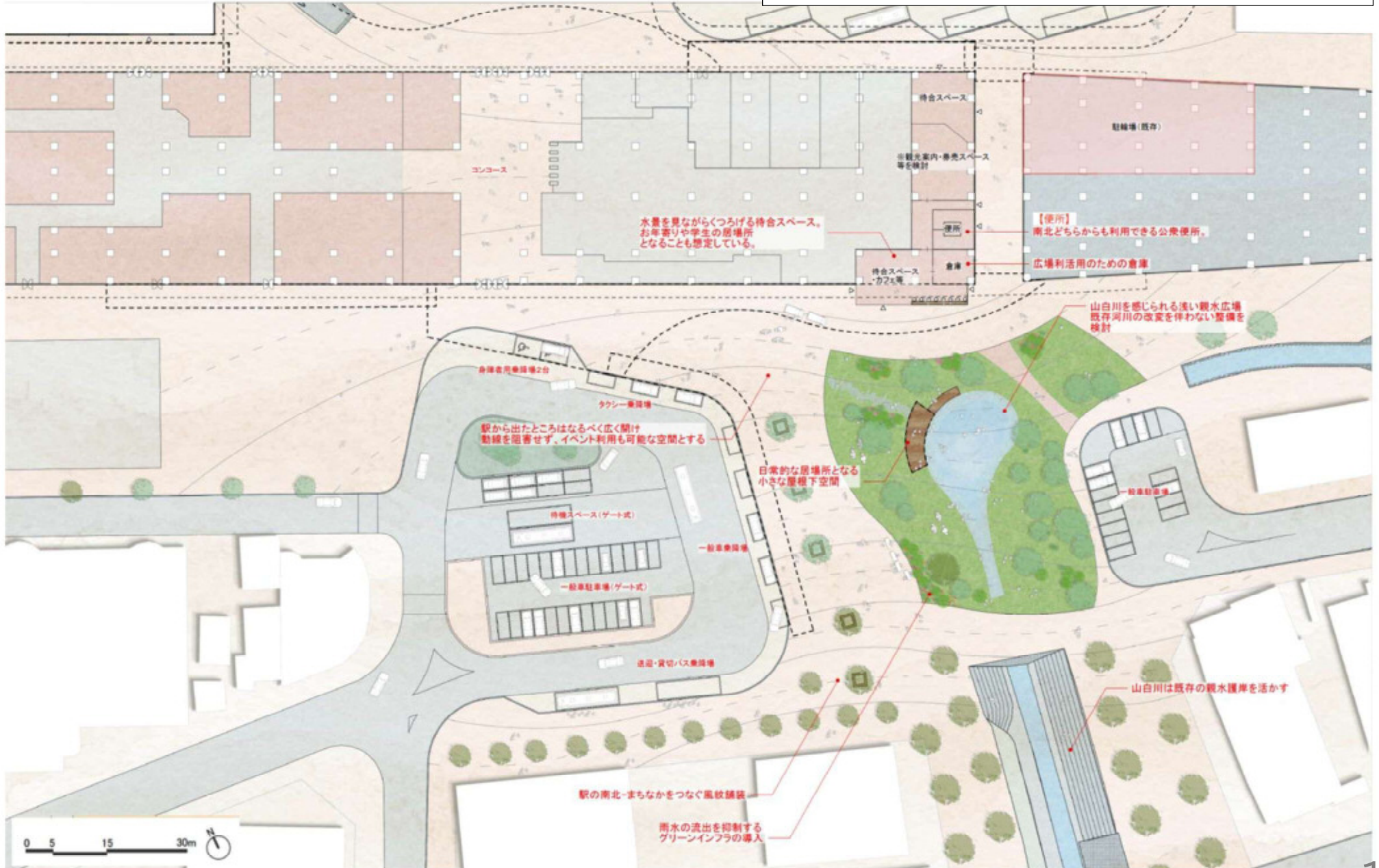
※関係者協議中のものであり、今後変更の可能性があります。



# 5) 駅まちデザイン検討部会での議論

【南口駅前広場平面イメージ】

※関係者協議中のものであり、今後変更の可能性があります。



## (2) 整備計画（素案）について

---

別途配布の整備計画（素案）にて説明  
※整備計画書 1章～4章を配布

※別紙 1

## (3) 策定までのスケジュールについて

---

# 1)整備計画策定までのスケジュール案

	R8.1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
駅まち空間 デザイン 検討部会					●									●																									
四者連携 協議会								●									●																						
リ・デザイン 会議								●												●																			

整備計画  
(素案一部)  
公表

整備計画(素案)  
全体について

整備計画  
(素案)公表

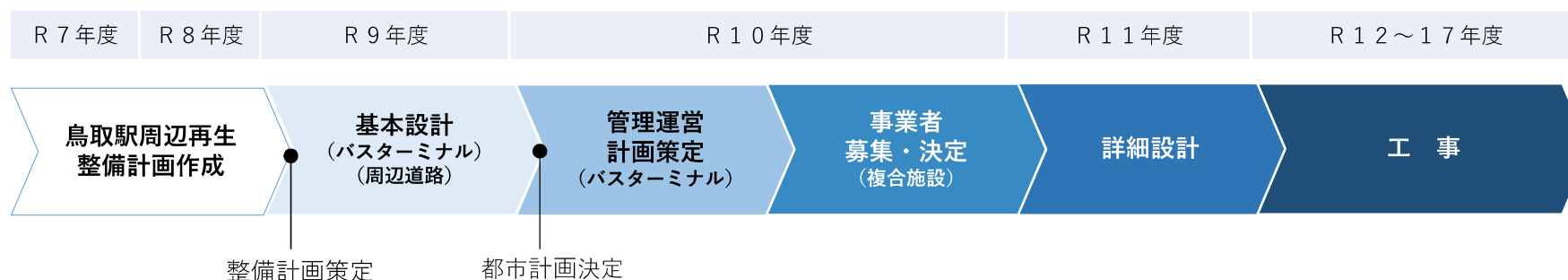
整備計画(原案)  
について

整備計画  
策定

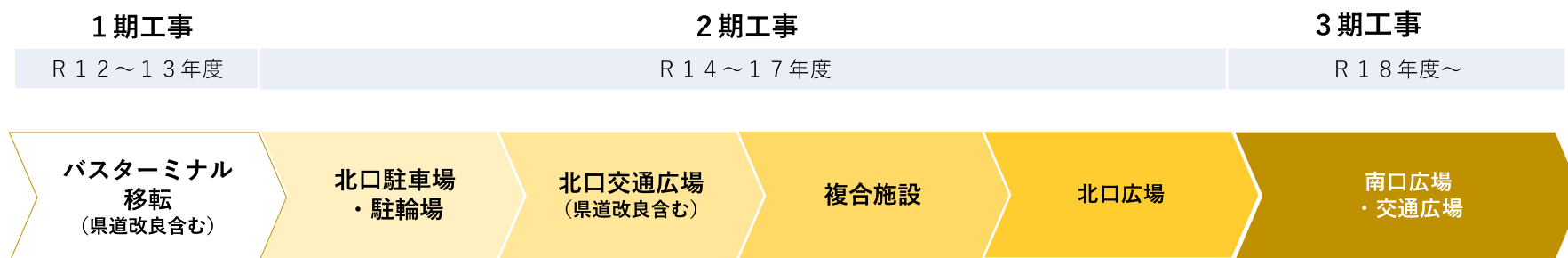
令和7年度中に整備計画(素案)の一部公表、  
 令和8年中の整備計画策定を目指して検討を進めていきます。

## 1. 整備計画策定以降のスケジュール（想定）

今後、令和8年度中の整備計画策定を経て、令和12年度中の工事着工、令和17年度の竣工を目指して引き続き検討を進めます。



## 2. 工事の流れ（想定）



※バスターミナル移転後は、歩行者動線を確保しつつ、西側から工事を進める想定。